



令和五年

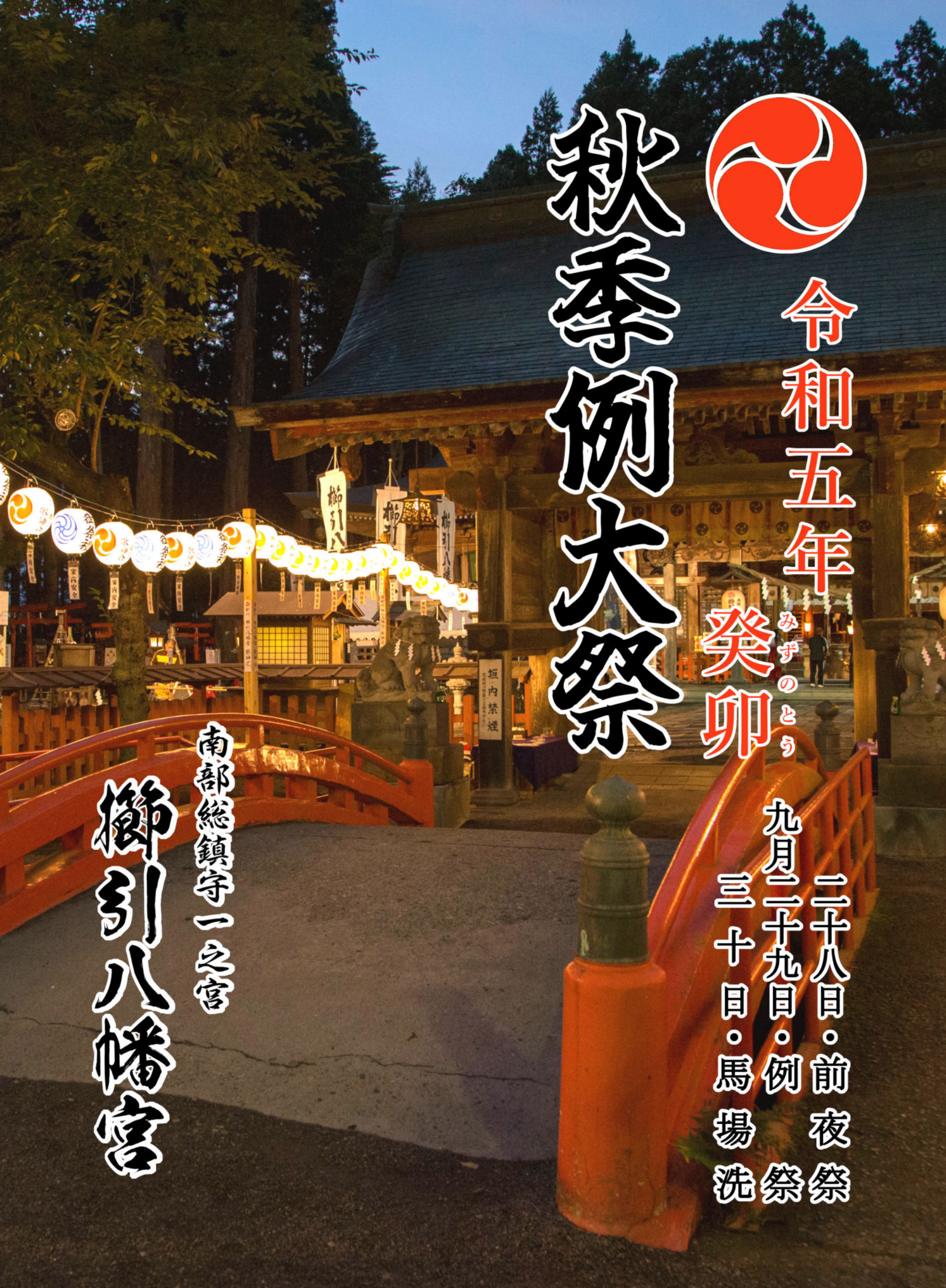
癸卯 みづのとう

# 秋季例大祭

二十八日・前夜祭  
九月二十九日・例祭  
三十日・馬場洗

南部総鎮守一之宮

## 御引八幡宮





# としごと ためし ためにま 年毎の例の随に

右に記しました言葉は、宮司が大神さまに申し上げます言葉（祝詞）に、「慣例によって一年に一度の」との意があります。

一年を通じて様々な「お祭り」が営まれておりますが、今回ご案内申し上げます祭礼は年間で一番重大な、神さまと皆さまのご縁日に当たるお祭りでございます。

祭礼は三日間に渡り行われます。一日目を「前夜祭」、二日目を「例大祭」、三日目を「馬場洗」と称します。縁ある例大祭神事のみならず、南部流鎗馬をはじめ、大勢の皆さまによる神事芸能が奉納されハレの場に華をそ添え、神さまと皆さまの交流の場は喜びに満ちあふれ清々しい気持ちになられるでしょう。



奉納された野菜・銘菓  
ハレの場に崇敬者の皆さま方より、多くの供物が奉納される。

祭儀のご奉仕に近隣の神社より大勢の方々が助勢に加わり、昔ながらの神祭りの作法によりおもてなしを申し上げます。

優雅な雅楽の調べに巫女による『浦安の舞』、更に勇壮な神楽の響きに南部里神楽奉仕者による『権現舞』が御神前にて奏され、神さまのお恵みはいよいよに、ご参列の皆さまへとお授けになられます。



参進・浦安の舞・南部里神楽  
神さまをもてなす場に、多くの奉仕者による芸能が奉納される。

二日目は例大祭神事が納められた後に、境内馬場（国宝館裏）にて「遠野南部流鎗馬保存会」による神事流鎗馬の奉納が行われます。

当宮は、毎年八月に競技流鎗馬大会の会場でもあり、全国で希を見る一年に複数回の流鎗馬が行われる場でもあります。神事の一環として行われる秋季大祭の流鎗馬、是非、陪観（神さまと一緒にご覧になれる意）されて守り伝えられて来た伝統文化に触れられてください。



流鎗馬奉仕者の御祓（上）・馬場清祓（下）  
神事流鎗馬が無事に賑々しく大神様へと御覧あそばされるよう、神殿で奉仕者一同が御祓を受ける。（非公開）  
同じく、境内も祓清めて流鎗馬の時を待つ。

特設舞台では、崇敬者の皆さまにより様々な芸能が奉納されます。奉仕者の年齢も広域に渡り、それぞれの団体がこの日の為に日々精進を続けてこられました姿をご覧ください。



伝統芸能奉納  
特設舞台にて様々な年齢の方が、各々の練習の成果を奉納される。

素敵な日にも、お恵みを

お受けになれませんか。

皆さまには、御祓いをお受けいただき、そして「しあわせ」をお祈りいただけます。

ご参拝・ご参列を

お待ちしております